

## 第2回次期総合振興計画（区の将来像）に係る中央区検討懇話会

### 次 第

日 時 平成31年1月23日（水）

午前 10時から

場 所 中央区役所 301会議室

#### 1 開会

#### 2 意見交換

(1) 中央区の将来像改定素案たたき台について

#### 3 閉会

#### 【当日配付資料】

- ・ 次第
- ・ 委員名簿
- ・ 席次表

#### 【事前配布資料】

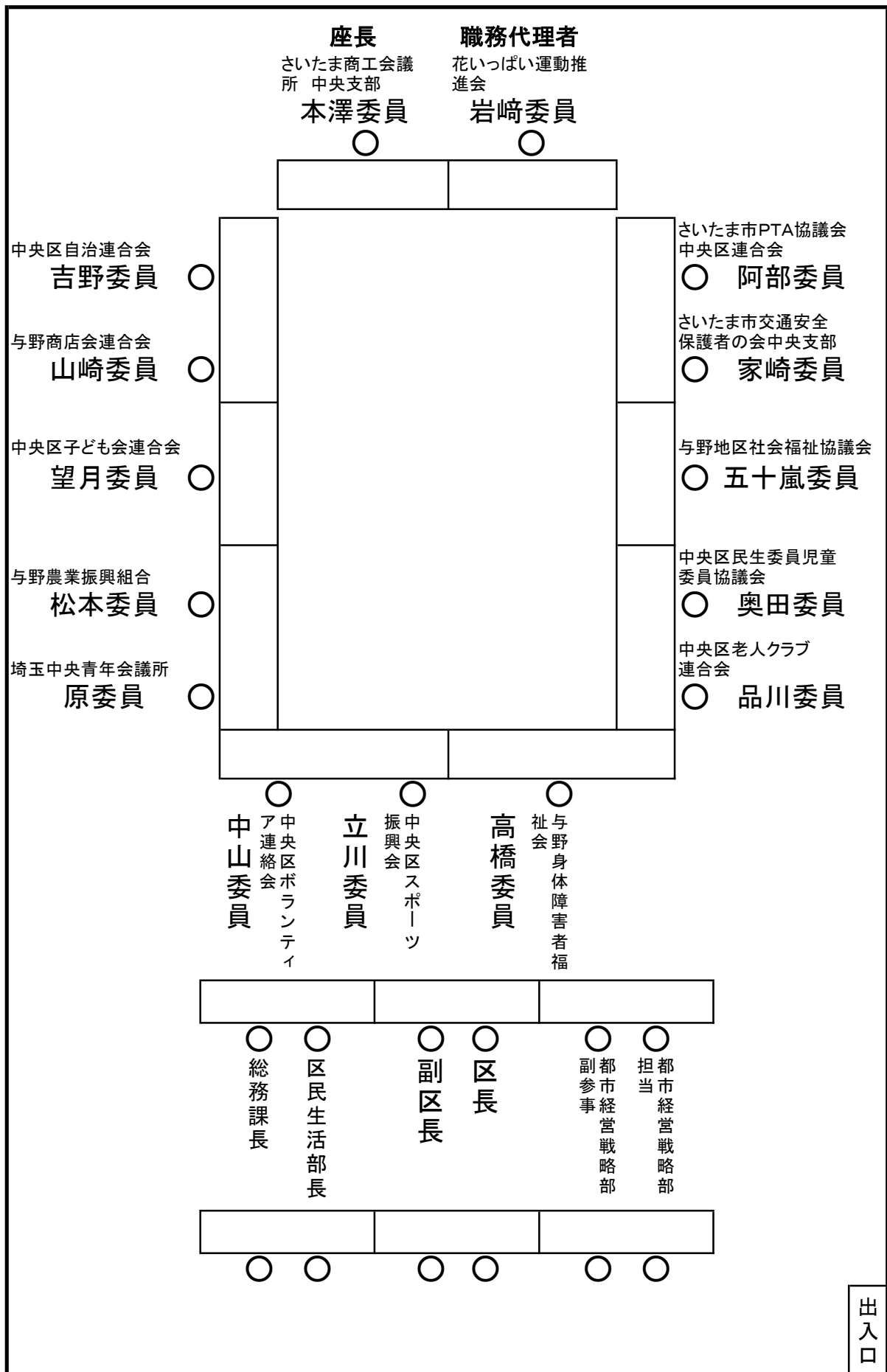
- ・ 資料1 第1回中央区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見
- ・ 資料2 中央区の将来像改定素案たたき台

## 次期総合振興計画（区の将来像）に係る中央区検討懇話会 委員名簿

（氏名 五十音順）

No.	団体名	役職	(フリガナ) 氏 名
1	さいたま市PTA協議会中央区連合会	会長	アベ 達哉 阿部 達哉
2	さいたま市交通安全保護者の会中央支部	支部長	任持 清子 家崎 清子
3	与野地区社会福祉協議会	副会長	イラン 健一 五十嵐 健一
4	花いっぱい運動推進会中央支部	支部長	イサキ 道行 岩崎 道行
5	中央区民生委員児童委員協議会	副会長	オダ 由江 奥田 由江
6	中央区老人クラブ連合会	会長	シガワ 惣壽 品川 惣壽
7	与野身体障害者福祉会	会長	タカハシ 一男 高橋 一男
8	中央区スポーツ振興会	理事	タチカワ 雅子 立川 雅子
9	中央区ボランティア連絡会	役員	ナカヤマ 学 中山 学
10	埼玉中央青年会議所	常任理事	ハラ 真 原 真
11	与野農業振興組合	組合長	マツモト 一夫 松本 一夫
12	中央区子ども会連合会	会長	モチヅキ 三之 望月 三之
13	さいたま商工会議所中央支部	支部長	モリサワ シゲル 本澤 繁
14	与野商店会連合会	会長	ヤマザキ ヒロ 山崎 均
15	中央区自治連合会	副会長	ヨシノ キハチ 吉野 喜八

# 次期総合振興計画(区の将来像)に係る中央区検討懇話会 席次



## 第 1 回中央区検討懇話会と市民ワークショップにおける主なご意見

※黒字は区検討懇話会、赤字は市民ワークショップからの主な意見。

※「まちづくりのポイント」、「将来像」、「その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）」の視点で分類した。

※網掛けは、「区の将来像たたき台（案）」（資料 2）作成の際、特に留意した意見。

※「まちづくりのポイント」に関する主な意見は、現行の後期基本計画の該当する「ポイントの説明書き」で分類した。（資料 2 の「（）」の番号を参照）

また、意見が複数の説明書きに該当する場合は、【 】で該当する説明書きの番号を記載。

[例] 【1 - 1・4】は、「まちづくりのポイント 1」の「説明書き(1)と(4)」にそれぞれ該当。

## 【 I 】中央区における「課題」、「将来への期待」、「まちづくりのポイント」に関するご意見

## 1 区の特徴を生かした魅力的な街並みと緑豊かな環境づくり

(1) 区の花バラや与野の大カヤ、鴻沼川の桜、蔵造りの街並みなど、自然や資源の保全・活用・充実

- 1 川沿いの道を歩きやすくすべき。桜がきれいなのでベンチを置いてはどうか。
- 2 高沼用水の護岸に歩道が整備されるとよい。
- 3 鴻沼はもう少し力を入れて水と緑と花のネットワークの中で重点化すべきだ。

(2) 公園などのまとまった緑の保全・充実、そうした緑の拠点を川や道を利用してつなぐ緑のネットワークの形成

- 1 公園が多く子育てがしやすい 【1-2、4-1】

(3) ごみの減量化やリサイクル、省エネルギーなどの環境保全活動や道路・公園の清掃などの環境美化活動の推進

## 2 地域資源を生かした、調和のとれたにぎわいづくり

(1) 街並みや緑、歴史・文化などの古くからある資源とさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場などの新しい資源を生かした、古いものと新しいものの調和

- 1 スーパーアリーナ・芸術劇場があり、文化施設・イベントが充実 【2-1、2-2】
- 2 芸術劇場周辺に若手アーティスト（役者、音楽家、作家等）に住んでもらう。アート地区を目指す。

(2) さいたま新都心を中心とした、地域全体の魅力向上と地域の均衡ある発展

- 1 スーパーアリーナ・芸術劇場があり、文化施設・イベントが充実 【2-1、2-2】
- 2 大宮・浦和の間にあり、利便性が良い 【2-2、5-5】
- 3 イメージシンボル、アピール不足
- 4 イメージが薄い（浦和・大宮に比べ）

(3) JR 埼京線沿線の未利用地や道路空間などを有効活用した人々の集まる新たな空間の形成

- 1 ガード下の活用
- 2 ガード下の有効活用
- 3 駅の沿線環境整備

(4) 活気ある商店街と地域社会を支える産業の活性化

- 1 本町通りの活性化が必要。一方通行にして子どもを中心に歩行者の安全を向上することが必要。【2-4、4-2】
- 2 駅前に生活利便施設が少ない

3 学びと交流を通じた、地域の誇りと愛着を持つ人づくり

- 1 子どもにとってよいふるさと、誇りの持てる街を作りたい。
- 2 ポイント3（学ぶと交流を通じた、地域の誇りと愛着を持つ人づくり）は、気持ちに合う。

(1) 明日を担う健全な子どもたちの育成と地域の特性を生かした教育の推進

(2) 地域の歴史・伝統・文化や人材を活用した生涯学習や人づくりの実践

- 1 学びと交流とあるが、高齢者の社会参加の勧めが重要。老人会の加入率は20%。

(3) 子どもから高齢者に至るまで、幅広い世代における地域との関わりや交流を創出する仕組みづくり

- 1 今すぐに高齢化に対するビジョンが必要。子どもも同じ。高齢者の居場所、子どもの遊び場が少ない。
- 2 1丁目ごとに20坪の居場所があればよく、午後3時頃までは高齢者、それ以降は子どもが利用すればよい。
- 3 ルールなどによって子どもたちが多様な遊びができていない。
- 4 高架下の有効利用が重要。午後3時頃まで高齢者、それ以降は子どもが利用すればよい。
- 5 居場所については、雨風が凌げればプレハブでよい。トイレとキッチンがあれば高齢者は集まって談義することを好む。

- 6 高齢者にとっては、対象の会場がないことも課題で、公園等に10～20坪あればよい。
- 7 障害者福祉会も高齢化が進んでおり、近年障害別に活動している。【3-3、4-2】
- 8 **スポーツ**はポイント3に関係する。特に「子どもから高齢者」。
- 9 老人会が減少中で、若い人にも協力してもらいたい。
- 10 フルート、ピアノ演奏会を実施し、長く続けたいが場所が課題。老人等が集まる場所が必要。老人は談義をしたいだけ。
- 11 まちかどでお茶ができればよい。郊外よりまちなかが重要だ。

#### 4 ふれあいと支え合いによる、安全・安心と生きがいのある地域づくり

(1) 地域で安心して子どもを産み育てられる環境と、子どもたちの健やかな成長を支える場や機会の提供

1 バイパスの西側のアクセスは悪くないが、高齢者施設や障害者施設が集中し、交番がないなど子どもが寄れるところが少ない。

**2 治安が良い**

**3 公園が多く子育てがしやすい 【1-2、4-1】**

(2) 地域福祉における支え合いのネットワークづくりや交通手段の確保、交通マナーの向上等による高齢者や障害者をはじめとした区民の安全・安心で生き生きとした暮らしの確保

1 安全安心が重要であり、高齢者にとっては、車がないと外に出かけられない状況にある。

2 高齢者や子どもにとって**安心して通れる、歩ける道路**が重要で、コミュニティバスも検討してほしい。

3 本町通りの活性化が必要。一方通行にして子どもを中心に**歩行者の安全**を向上することが必要。【2-4、4-2】

4 高齢者の買物のためにバスが必要。

5 障害者福祉会も高齢化が進んでおり、近年障害別に活動している。【3-3、4-2】

6 市内巡回バスがあると出かけやすい。

7 高齢者が交通不便により、外に出かけられなくなる点は課題。コミュニティバスが必要。

8 子ども自転車免許の取組の中で、父母が交通ルールを知ることが重要。マナーの前にルールである。

9 総論と各論に分けて議論したい。例えば高齢化を取り上げたい。

**10 安全安心なまちづくり、歩行者と自転車専用道の増設等**

(3) 災害時における区民自らの役割である自助と地域で支え合う共助、行政の役割である公助などによる安全・安心な地域づくり

## 5 区民との協働による地域に根ざしたまちづくり

(1) 主要な公共施設の再編整備等における、区民と共に進めるまちづくり

(2) 地域を支える自治会をはじめとした各種団体への加入促進による地域活動の活性化

(3) 区民の自主的な活動と連携の積極的な支援によるコミュニティの充実

1 振興会では年2回イベントを実施している。春にスポーツフェスティバル、秋にハイキングである。

(4) 区民と行政の協働の仕組みづくりと協働の実践の機会の創出

(5) 地域に根ざした従来からのきめ細かいサービスの維持・向上と、他区との連携による新しいサービスの展開

1 外国人が多いという話だが、2020年に多くのボランティアが必要となる。民泊を含め交流への準備が必要となる。

2 大宮・浦和の間にあり、利便性が良い 【2-2、5-5】

## 【Ⅱ】「中央区の将来像」の見直しに関するご意見

1 都市文化については、変えた方がよい。「調和のとれた都市文化」のイメージが湧かない。

2 中央区に多くの組織がある中で、「交流が育てる安心なまち」を進めていくことが重要。このフレーズはよい。

3 中央区としてPRできるものがあつたらいいと思う。

## 【Ⅲ】その他のご意見（特に特定するポイントがない場合など）

1 中央区を他と比べると目立った課題少ない。

2 人に勧められる名所がないというのも他と同じ。

3 ふるさととして中央区を見ると与野の歴史がある。「本町」という呼称でよいのかという問題意識はある。

4 農業生産物を市民に直販する仕組みとしたい。直売所が中央通りに開設できるとよい。

5 都市化の中の農業の課題として、相続によって廃業してしまう点がある。

- 6 自ら属する身体障害のグループについては、高齢化により設立の昭和 28 年からのメンバーが二人となった。
- 7 人口が 10 万人になった。今後の人口減少について資料に基づき議論したい。
- 8 外国人労働者が増えてきた。共生をどうするか。
- 9 人口減少、市税収減少の中で、箱物は作れなくなる。複合化、効率化と不便のバランスをどうするかが課題だ。
- 10 社会保障費が増加する中で市はどうか考える必要がある。
- 11 スポーツ振興会が呼ばれる理由が分からない。
- 12 敬老のお祝いを地元商品券にしてはどうか。
- 13 メンバーとして地域包括支援センターを加えるべき。現場の意見があると思う。
- 14 人口減と高齢化をより具体的に示してはどうか。
- 15 自治会長の悩みは民生委員のなり手がいないこと。1 民生委員が 150~200 世帯と多い。人数増やすべき。
- 16 民生委員は高齢者への行政情報の提供に寄与している。
- 17 与野駅前にはマンションが多いが、若い世代の世帯については、1 人の民生委員が担当する世帯が多くても対応できる。
- 18 医療施設が充実している
- 19 埼京線と京浜東北線間の行き来が不便
- 20 大宮バイパスより西側のアクセスが悪い
- 21 通学している学生に将来的に住んでもらえるような取り組み
- 22 イベント PR



## 「中央区の将来像改定素案たたき台」（後期基本計画→次期総合振興計画） ※変更箇所は赤字

	後期基本計画	次期総合振興計画
将来像	<p><b>調和のとれた都市文化の創造と交流が育てる安心なまち</b>  <small>ふれあい</small></p> <p>中央区には、古くから引き継いできた歴史と文化の薫る街並みと家族のような人々の深いつながりがあります。その従来から培われた伝統を生かしながら、さいたま新都心を中心とする都市の魅力を加え、安全・安心な“美しいまち”“美しい心があふれるまち”を創り、次の世代に伝えていくため、人々が積極的に発言し、主体的に行動するまちを目指します。</p>	<p><b>歴史と文化の調和のとれた都市の創造と交流が育てる安心なまち</b>  <small>ふれあい</small></p> <p>中央区には、古くから引き継いできた歴史と文化の薫る街並みと家族のような人々の深いつながりがあります。その従来から培われた伝統を生かしながら、さいたま新都心を中心とする都市の魅力を加え、安全・安心な“美しいまち”“美しい心があふれるまち”を創り、次の世代に伝えていくため、人々が積極的に発言し、主体的に行動するまちを目指します。</p>
まちづくりのポイント	<p><b>1 区の特徴を生かした魅力的な街並みと緑豊かな環境づくり</b></p> <p>(1)区の花バラや与野の大カヤ、鴻沼川の桜、蔵造りの街並みなど、自然や資源の保全・活用・充実  (2)公園などのまとまった緑の保全・充実、そうした緑の拠点を川や道を利用してつなぐ緑のネットワークの形成  (3)ごみの減量化やリサイクル、省エネルギーなどの環境保全活動や道路・公園の清掃などの環境美化活動の推進</p> <p><b>2 地域資源を生かした、調和のとれたにぎわいづくり</b></p> <p>(1)街並みや緑、歴史・文化などの古くからある資源とさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場などの新しい資源を生かした、古いものと新しいものの調和  (2)さいたま新都心を中心とした、地域全体の魅力向上と地域の均衡ある発展  (3)JR埼京線沿線の未利用地や道路空間などを有効活用した人々の集まる新たな空間の形成  (4)活気ある商店街と地域社会を支える産業の活性化</p> <p><b>3 学びと交流を通じた、地域の誇りと愛着を持つ人づくり</b></p> <p>(1)明日を担う健全な子どもたちの育成と地域の特性を生かした教育の推進  (2)地域の歴史・伝統・文化や人材を活用した生涯学習や人づくりの実践  (3)子どもから高齢者に至るまで、幅広い世代における地域との関わりや交流を創出する仕組みづくり</p> <p><b>4 ふれあいと支え合いによる、安全・安心と生きがいのある地域づくり</b></p> <p>(1)地域で安心して、子どもを産み育てられる環境と、子どもたちの健やかな成長を支える場や機会の提供  (2)地域福祉における支え合いのネットワークづくりや交通手段の確保、交通マナーの向上等による高齢者や障害者をはじめとした区民の安全・安心で生き生きとした暮らしの確保  (3)災害時における区民自らの役割である自助と地域で支え合う共助、行政の役割である公助などによる安全・安心な地域づくり</p> <p><b>5 区民との協働による地域に根ざしたまちづくり</b></p> <p>(1)主要な公共施設の再編整備等における、区民と共に進めるまちづくり  (2)地域を支える自治会をはじめとした各種団体への加入促進による地域活動の活性化  (3)区民の自主的な活動と連携の積極的な支援によるコミュニティの充実  (4)区民と行政の協働の仕組みづくりと協働の実践の機会の創出  (5)地域に根ざした従来からのきめ細かいサービスの維持・向上と、他区との連携による新しいサービスの展開</p>	<p><b>1 区の特徴を生かした魅力的な街並みと緑豊かな環境づくり</b></p> <p>(1)区の花バラや与野の大カヤ、鴻沼川の桜、蔵造りの街並みなど、自然や資源の保全・活用・充実  (2)公園などのまとまった緑の保全・充実、そうした緑の拠点を川や道を利用してつなぐ緑のネットワークの形成と<b>川辺の整備</b>  (3)ごみの減量化やリサイクル、省エネルギーなどの環境保全活動や道路・公園の清掃などの環境美化活動の推進</p> <p><b>2 地域資源を生かした、調和のとれたにぎわいづくり</b></p> <p>(1)街並みや緑、歴史・文化などの古くからある資源とさいたま新都心や彩の国さいたま芸術劇場などの新しい資源を生かした、古いものと新しいものの調和  (2)さいたま新都心を中心とした、地域全体の魅力向上と地域の均衡ある発展  (3)JR埼京線沿線の未利用地や道路空間などを有効活用した人々の集まる新たな空間の形成  (4)活気ある商店街と地域社会を支える産業の活性化</p> <p><b>3 学びと交流を通じた、地域の誇りと愛着を持つ人づくり</b></p> <p>(1)明日を担う健全な子どもたちの育成と地域の特性を生かした教育の推進  (2)地域の歴史・伝統・文化や人材を活用した生涯学習や人づくりの実践  (3)子どもから高齢者に至るまで、幅広い世代における地域との関わりや交流の場、<b>スポーツができる機会の創出</b></p> <p><b>4 ふれあいと支え合いによる、安全・安心と生きがいのある地域づくり</b></p> <p>(1)地域で安心して、子どもを産み育てられる環境と、子どもたちの健やかな成長を支える場や機会の提供  (2)地域福祉における支え合いのネットワークづくりや交通手段の確保、交通マナーの向上等による<b>子ども、高齢者や障害者に安全な道路の整備</b>をはじめとした区民の安全・安心で生き生きとした暮らしの確保  (3)災害時における区民自らの役割である自助と地域で支え合う共助、行政の役割である公助などによる安全・安心な地域づくり</p> <p style="text-align: right;">(写真キャプションの修正 避難場所⇒避難所)</p> <p><b>5 区民との協働による地域に根ざしたまちづくり</b></p> <p>(1)主要な公共施設の再編整備等における、区民と共に進めるまちづくり  (2)地域を支える自治会をはじめとした各種団体への加入促進による地域活動の活性化  (3)区民の自主的な活動と連携の積極的な支援によるコミュニティの充実  (4)区民と行政の協働の仕組みづくりと協働の実践の機会の創出  (5)地域に根ざした従来からのきめ細かいサービスの維持・向上と、他区との連携による新しいサービスの展開</p>